粘土科学 第52巻 第2号 74-79 (2014)

報告

第57回粘土科学討論会(高知大会)報告

中川昌治

高知大学理学部門 〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1

第57回粘土科学討論会(高知大会)は、平成25年9月 4日(水)~6日(金)の期間,高知市文化プラザかるぽー とを会場に開催されました。初日は台風の接近による大 雨に見舞われましたが、多くの方々に参加していただき、 盛況に行われました。今回の討論会では、会場が中心市 街地にあり、参加者の方々は宿泊ホテルから歩いて会場 へ通うことができました. 討論会への参加登録者数は 149名で、内訳は正会員77名、賛助会員10名、共催学会 会員10名, 学生会員29名, 共催学会学生会員3名, 非会 員18名,招待2名でした.討論会では、口頭発表59件(内. 特別講演1件、シンポジウム講演6件、提案型セッショ ン8件)、ポスター発表37件、合計96件の発表が行われ ました. 例年に比べて、発表件数と参加者数がやや少な くなりましたが、日本セラミックス協会シンポジウムお よび資源・素材関係学協会合同大会と日程が重なったため と思われます. なお、今回の討論会では口頭発表20件とポ スター発表12件が、優秀講演賞の審査を希望されていまし た. また、討論会へのご参加にあたり、日本粘土学会へ正 会員9名と学生会員17名の新規ご入会がありました。



討論会会場(高知市文化プラザかるぼーと)と懇親会会場 (ホテル日航高知旭ロイヤル)

さて、討論会前日の夕方には、平成25年度第4回常務委員会が討論会場で開催され、日本粘土学会の会長・副会長・常務委員長・常務委員・会計監査役の方々が参集されました。また、第6回若手研究者研究発表会も開催されました。

討論会1日目は、受付が8時30分から始まりました。 今回は参加者のほとんどが事前参加登録(入金)をされ たため、受付での混雑が見られませんでした。9時から A会場(2階小ホール)とB会場(11階大講義室)で、一般講演の口頭発表が始まりました。当日は、悪天候にもかかわらず、早朝からたくさんの方々にご参加いただき、討論会はトラブルも無く予定通りに進められました。なお、一般講演の1日目は、無機材料・化学・物理分野の発表がA会場、地球科学・資源・土壌・肥料・建設・農業土木分野の発表がB会場。2日目は会場と分野が逆になるようにプログラム編成がなされていました。

昼休みには、平成25年度第4回評議員会が会議室で開 かれました。午後は、13時からA会場で、釜山大學校自 然科學大學の黄辰淵会員による特別講演「韓国における 石綿鉱物の産状と石綿問題について」が行われました. 韓国では1950年代から1990年代にかけて、石綿が多くの 鉱山から産出され利用されました。蛇紋石の温石綿 (chrysotile) と角閃石の透角閃石綿(tremolite)があり、 これらの地質学的産状や鉱物学的特性を解説されるとと もに、韓国で起こった石綿問題とそれらへの取り組みな どを紹介していただきました。引き続き、同会場にて14 時から、シンポジウムが開催されました。「女性研究者 が拓く粘土科学」をテーマに(企画:日比野俊行会員・ 高木慎介会員)、粘土科学分野の第一線でご活躍されて いる6名の女性講師の方々にご講演をいただき、その後 で活発な総合討論がなされました. 講演題目と講演者は、 「物質科学と女性研究者」: 實川節子氏(日本ロレアル). 「有機変性粘土鉱物を用いた乳化物の調製および化粧品 への応用」: 関根知子会員(資生堂)、「粘土鉱物ナノシー トを用いた多重発光性極微量酸素センサーの開発を目指 して」: 佐藤久子会員 (愛媛大),「私が粘土科学者になっ た訳-粘土鉱物と関わった研究について-1:鈴木憲子 会員(昭和薬科大)、「粘土層と研究」: 地下まゆみ会員(大 阪大谷大),「無機層状化合物の薬学応用」: 林亜紀会員 (神戸薬科大) でした. なお, 特別講演とシンポジウム の講演者の方々には、国の伝統的工芸品に指定されてい る「土佐和紙」の盆が贈られました。

シンポジウムの終了後、討論会場のすぐ近くにあるホテル日航高知旭ロイヤルへ歩いて移動し、懇親会が催されました。参加者数は100名(内、学生14名)で、討論会参加者の約7割の方々が懇親会にもご参加されたことになります。懇親会では、実行委員会委員長の中川昌治(高知大)の司会進行により、日本粘土学会の山田裕久会長(物材機構)のご挨拶、高知大学の櫻井克年総務担

第52巻 第2号 (2014) 75



特別講演 (黄辰淵先生, 宮脇会員が撮影)



シンポジウム会場 (A会場, 高知大生が撮影)

当理事による開催地高知大学の代表ご挨拶、永田洋会員による乾杯のご発声があり、土佐の郷土料理や地酒を楽しみながら和やかな歓談のひとときが持たれました。宴も中盤にさしかかった頃には、よさこい鳴子踊りの踊り子7名が入場して、郷土芸能の踊りを可憐に演じました。粘土会員も踊り子に混じって舞を楽しまれました。この郷土芸能は高知市からの歓迎サービスとして提供されました。会の後半には、特別講演者の黄辰淵会員、シンポジウム講演者の實川節子氏・鈴木憲子会員・佐藤



高知大学理事の挨拶(櫻井克年先生)



シンポジウム講演(實川節子先生)



シンポジウム総合討論 (左から林先生, 地下先生, 鈴木先生, 佐藤先生, 関根先生, 實川先生)

久子会員、志々目正高会員(ボルクレイジャパン)、鈴木啓三会員(北海道大)、学生を代表して井上沙綾子会員(東京大)、若手の会代表の鈴木康孝会員(山口大)、元会長の山岸皓彦会員(東邦大)、粘土学会初参加の小林隆司氏(物材機構)のスピーチがあり、また、横山信吾会員(電中研)と鈴木正哉会員(産総研)による2日目の提案型セッションの紹介がありました。会の終わりには、八田珠郎常務委員長(国際農林)から次回の粘土科学討論会が福島で開催される報告があ



乾杯の挨拶 (永田洋会員)



よさこい鳴子踊り (チームまいや)

り、山崎淳司会員(早稲田大)の中締めで盛況のうちに閉会しました。

討論会 2 日目は、9 時から 2 会場に分かれて一般講演の口頭発表が行われ、11時からは A 会場で総会が開催されました。総会では、伊藤健一会員(宮崎大)を議長として、山田会長のご挨拶、各種の報告と審議が行われ、最後に学会賞等の表彰がなされました。受賞者は以下の通りです。学会賞:八田珠郎会員、功績賞:川地武会員、功績賞:神山宣彦会員、奨励賞:皆瀬慎会員、奨励賞:渡辺雄二郎会員、技術賞:片元勉会員・末益匠会員、論文賞(粘土科学):小田治恵氏・本田明氏・高瀬博康氏・小曽根健嗣氏・佐々木良一氏・山口耕平氏・佐藤努会員、論文賞(Clay Science):桑原義博会員・石田清隆氏・上原誠一郎会員・北逸朗氏・中卒田義博会員・林辰弥氏・藤井理恵氏、学術振興基金賞:富永亮会員・小澤俊輔会員・岡橋東子会員・塚本孝政会員・大谷優太会員。

午後は12時30分からC会場(7階展示室)でポスター発表が行われました。多数の方々にご参加いただき、活発な討論が行われました。また、12時から13時まで、平成26年度第1回評議員会と平成26年度第1回常務委員会が会議室で開かれました。

ポスター発表の後、14時30分から再び2会場に分かれ



口頭発表 (A会場, 篠原会員が撮影)



よさこいを舞う粘土会員(高知大生が撮影)



総会(山田裕久会長の挨拶, 篠原会員が撮影)

て一般講演の口頭発表が行われ、後半は提案型セッションとして企画されました、提案型セッションの題目は、A会場:「粘土鉱物一放射性セシウム相互作用に関する先端研究」(提案:横山信吾会員)、B会場:「アロフェン・イモゴライトの評価と応用最前線」(提案:鈴木正哉会員)でした。A会場では、口頭発表の前半にも、提案型のテーマに関連する発表が集められていました。提案型セッションでは、矢板毅氏(原子力機構)・鈴木伸一会員(原子力機構)・北澤英明会員(物材機構)・



口頭発表 (B会場, 篠原会員が撮影)

第52巻 第2号 (2014) 77



ポスター発表(C会場)

末原茂会員(物材機構)・大川政志会員(沼津高専)・ 梅村泰史会員(防衛大)・犬飼恵―会員(産総研)・敷中 一洋会員(東京農工大)による最新の研究成果の発表が 行われ、発表後の討論も終了時間を大幅に延長するほど 活発に行われました。

討論会 3 日目は、高知大学の大型バスを使用して、四国中央部別子地域への見学会が開催され、26名の方々にご参加いただきました。かるぽーと隣のバスターミナルを 8 時に出発し、10時前には愛媛県新居浜市南部の別子地域に到着しました。別子銅山は元禄 4 年(1691年)の開坑から昭和48年(1973年)の閉山までに約70万トンの銅を産出し、日本の経済や産業の発展に大きく貢献しました。かつて銅山の町として賑わった地域は、銅山関係の遺跡と自然景観を活かした観光地として整備され、世界遺産への登録も目指されています。また、別子地域は三波川帯高圧型変成岩類の代表的な分布地域であり、変



見学会(別子銅山第四通洞口)



ポスター発表(C会場)

成岩やテクトニクスの素晴らしい研究が多くなされています。見学会では、住友別子銅山記念館、登録有形文化財として登録されている数々の遺跡、観光施設マイントピア別子の観光坑道を見学した後、施設内のレストランで、地元の食材を使った和食御膳に舌鼓を打ちました。昼食後は三波川帯の高変成度地域に産する柘榴石角閃岩や紅簾石石英片岩を採集しました。帰りはJR伊予土居駅に立ち寄り、予定の時間通りに高知龍馬空港とはりまや橋に着くことができました。

今回の討論会では、関連学会と日程が重なり、また、初日は悪天候に見舞われましたが、全国からたくさんの方々にお集りいただきました。実行委員会は「おもてなし」でお迎えできますよう全身全霊を傾けました。討論会の開催にあたりましては、日本粘土学会の会長・副会長・常務委員長・常務委員会委員・評議員会委員・事務局員、高知市文化プラザかるぽーとの皆様にご支援・ご

協力を賜りました。座長を務 めてくださった先生には、討 論会を順調に進め、活発な論 議へ導いていただきました. 高知大学の支援学生の皆様に は討論会の会場設営や会場で の運営業務にご協力いただき ました. 篠原也寸志会員(労 働安全衛生研)と宮脇律郎会 員(国立科博)は、討論会の 写真をご恵与くださいまし た. また、討論会開催にあた り, 多くの関連企業・高知 市・高知県観光コンベンショ ン協会・高知大学理学部門様 からご援助を賜りました. こ の場をお借りして厚く御礼申 し上げます. 最後になりまし たが, ご多用な中, 高知大会 にご参加いただきました皆様、 誠にありがとうございました.

78 中川昌治 粘土科学

表彰式 (9月5日総会)



学会賞:八田珠郎会員



功績賞:神山宣彦会員



奨励賞:渡辺雄二郎会員



論文賞(粘土科学):小田治恵氏・本田明氏・高瀬博康氏・ 小曽根健嗣氏・佐々木良一氏・山口耕平氏・佐藤努会員



功績賞:川地武会員



奨励賞:皆瀬慎会員



技術賞:片元勉会員・末益匠会員



論文賞 (Clay Science): 桑原義博会員・石田清隆氏・ 上原誠一郎会員・北逸朗氏・中牟田義博会員・林辰弥氏・ 藤井理恵氏 (写真は桑原義博会員)

79



学術振興基金賞: 富永亮会員



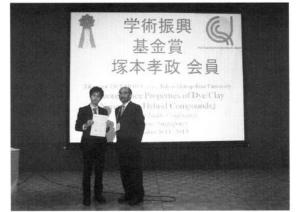
学術振興基金賞: 岡橋東子会員



学術振興基金賞:大谷優太会員



学術振興基金賞:小澤俊輔会員 (写真は代理の鈴木憲子会員)



学術振興基金賞:塚本孝政会員